

千葉テクノサービス株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月1日～2024年9月30日)

(発行日:2025年5月6日)



□ごあいさつ

環境破壊が大きくクローズアップされる中、公共インフラである道路を使用している会社として何か出来るのでは？と素朴な疑問にぶつかりました。
その様な疑問の中で地球規模と言った決して大きな貢献・活動ではなく、まずは出来る事から始める。
を基本理念とし全従業員に資源の重要性を周知・教育を行い、化石燃料の総量削減・資源の有効活用・排出される廃棄物の削減に取組開始段階として無理の無い目標及び活動計画を策定しました。
全社員が循環社会の重要性を認識する事で、環境負荷低減に寄与したいと考えております。

千葉テクノサービス株式会社

代表取締役 鈴木 陽平

環境方針

<環境理念>

次世代を担う子供たちが、安心して暮らせる環境を維持させる為に、地球温暖化等の環境問題に企業として又、全社員が問題意識を共有した上で真摯に取り組む、環境関連法を遵守すると共に環境保全に寄与する事を目的に、産業廃棄物収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネ及び排気ガス・総排水量・二酸化炭素・使用電力削減及び資源の有効活用に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 再生できるものは、再生できるところに。
- 2 . 環境関連の法令及び、当社が定めた事項を遵守致します。
- 3 . エコドライブを実践し、化石燃料の総量低減を推進します。
- 4 . 事務所から排出されるごみを分別し、再利用・再資源化に取り組めます。
- 5 . 雨水の有効活用並びに、節水に取り組めます。
- 6 . 環境経営に対して、社員全てに周知して継続的改善へ取り組めます。
- 7 . グリーンカーテンを実行し、省エネ及び二酸化炭素削減に努めます。
- 8 . 社会貢献の一環としてAEDを設置、エコキャップの回収を開始。

制定日： 2014年11月1日

改定日： 2024年10月1日

代表取締役 **鈴木陽平**

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
千葉テクノサービス株式会社
代表取締役 鈴木 陽平
- (2) 所在地
本 社 千葉県千葉市若葉区高根町1062-1

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営業部 上島恵一 TEL：043-228-8001
担当者 営業部 上島恵一 TEL：043-228-8001
- (4) 事業内容
産業廃棄物収集運搬業

- (5) 事業の規模
法人設立 平成11年11月29日
資本金 1,000 万円
売上高 785 百万円 (令和 5年度)

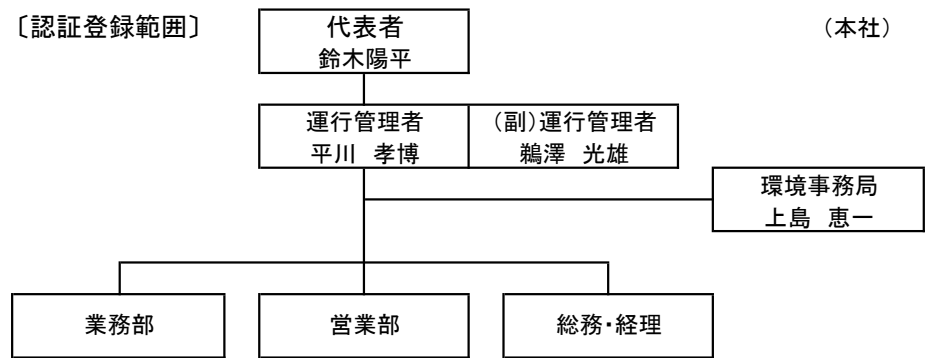
	事務所・倉庫	車庫・給油施設		
従業員	30 名			
延べ床面積	1031.3 m ²	1086 m ²		
受託した産業廃棄物				
収集運搬量	49,712 t			
中間処理量				
最終処分量				
中間処理後の産廃の処分量				
車種	台数	備 考		
大型特殊	4 台	バキューム車・2 ローリー車・1		
アームロール車	20 台	普通・1 中型・6 大型・12 ダンプ・5		
中型・大型車	4 台	パーゲート車・1 大型ウィング・3		
乗用車	6 台	白・5 事業用・1		
合計	42 台			

- (6) 事業年度 10月1日～9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号：0010638
認証・登録年月日：2015/6/4
登録組織名：千葉テクノサービス株式会社
対象事業所：本社
所在地：千葉市若葉区高根町1062-1
事業活動内容：産業廃棄物収集運搬業

□組織図



□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
四街道市	第34号	令和2年4月1日	令和11年3月31日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物収集運搬許可品目（一部）															
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず		紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
千葉県	第01200072804号	平成28年1月30日	令和8年1月29日	無	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東京都	第13-00-072804号	平成28年3月23日	令和8年3月22日	無	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	
埼玉県	第01107072804号	平成28年3月19日	令和8年3月18日	無	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
茨城県	第00801072804号	平成30年3月28日	令和10年2月11日	無	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		
神奈川県	第01403072804号	平成28年1月5日	令和7年11月28日	無	○	○	○	○		○	○	○	①	○	○	○	○	○	○	
栃木県	第00900072804号	平成28年11月13日	令和8年11月12日	無	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	
群馬県	第01000072804号	令和6年1月9日	令和11年1月8日	無	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
宮城県	第0400072804号	平成29年7月5日	令和9年7月4日	無	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
静岡県	第02201072804号	令和1年6月5日	令和11年6月4日	無	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		
福島県	第00707072804号	令和2年1月27日	令和7年1月26日	無	○	○	○	○		○	○	○	②	○	○	○	○	○	○	
長野県	第2009072804号	平成27年7月7日	令和7年7月6日	無	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

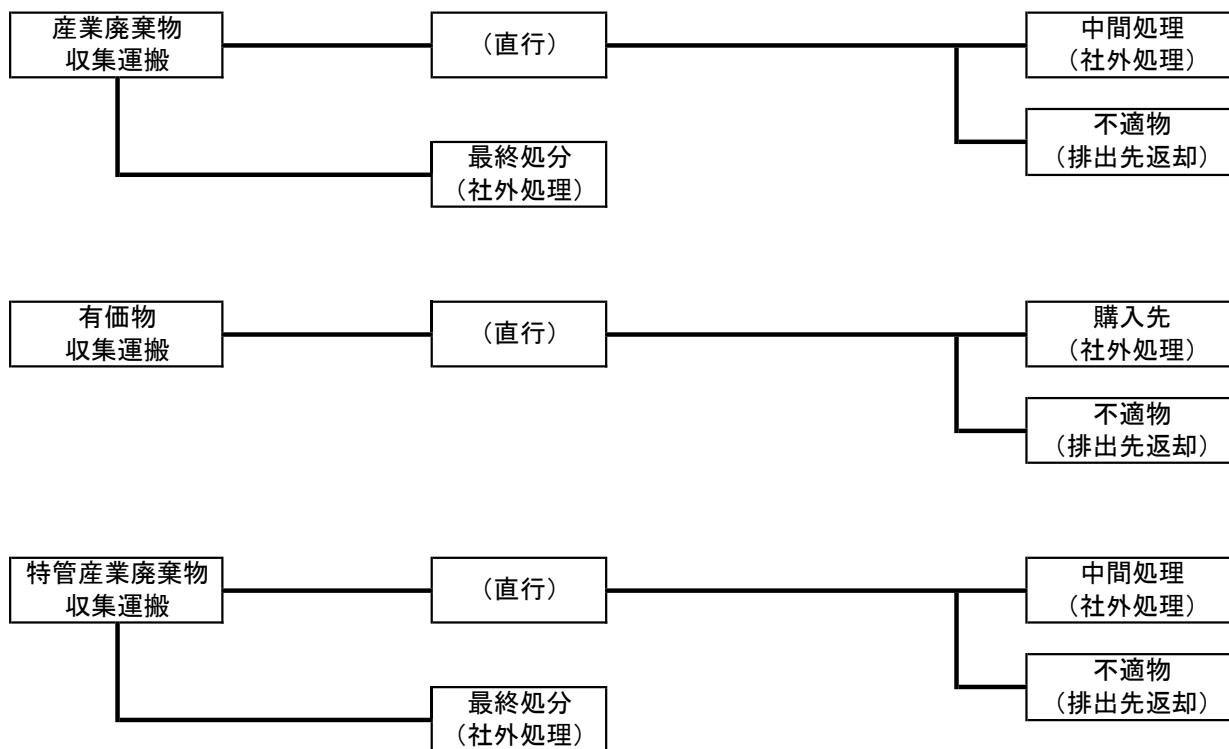
注・①はガラスくずのみ。②コンクリートくず(工作物の新築、改築または除去に伴って生じたものを除く)

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物収集運搬許可品目（一部）																
					アルキル水銀化合物	水銀又はその化合物	カドミウム又はその化合物	鉛又はその化合物		有機燐化合物	六価クロム化合物	砒素又はその化合物	シアン化合物	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1・2 ジクロロエタン	1・1 ジクロロエチレン	
千葉県	第01250072804号	令和1年6月11日	令和11年5月20日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
茨城県	第00851072804号	平成28年2月25日	令和8年1月17日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
神奈川県	第01453072804号	令和17年11月29日	令和7年11月28日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
栃木県	第00950072804号	平成29年1月16日	令和9年1月15日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
東京都	第13-57-072804号	平成30年1月28日	令和10年1月27日	無	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
いわき市	第09450072804号	平成26年1月8日	令和11年1月7日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
埼玉県	第01150072804号	令和1年10月28日	令和11年10月21日	無		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

※上記許可品目は(鉱さい、ばいじん、燃え殻、廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリ、指定下水汚泥)細分化される。

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,123,895	1,029,886	1,002,084
受託廃棄物量	t	61,591	63,791	49,712
廃棄物排出量	t	2.72	32.05	14.35
一般廃棄物排出量	t	1.47	1.29	3.43
産業廃棄物排出量	t	1.25	30.76	10.92
総排水量	m ³	169	172	144

※二酸化炭素排出係数	0.560 kg-CO ₂ /kWh	au電気
------------	-------------------------------	------

□環境目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		21,777	20,906	17,590		20,688	20,471
	基準年度比		2014年	96%	81%	○	95%	94%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2		939,573	911,386	857,330		901,990	892,595
	基準年度比		2014年	97%	91%	○	96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		961,351	932,292	874,920		922,679	913,065
一般廃棄物の削減	kg		1,790	1,701	3,431		1,611	1,593
	基準年度比		2014年	95%	192%	×	90%	89%
産業廃棄物の削減	t		21	19	7		17	15
	基準年度比		2014年	90%	35%	○	80	70
受託廃棄物のリサイクル対象比率の向上	%		45%	50%	0%		52%	54%
	基準年度比		2014年					
地下水の削減	m³		470	432	144		423	418
	基準年度比		2014年	92%	31%	○	90%	89%
グリーン購入の推進	%	—		30%	30%		40%	50%
化学物質の削減・管理	車輛修理は外部委託の為、弊社での溶剤等の使用は無し							
事業活動における環境配慮	①エコドライブの100%実施及び継続 ②環境配慮型車輛（ハイブリッド車）への変更を検討 ③廃棄物成分分析を徴収し、リサイクル対象比率向上の推進							

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標		実績/目標= 0.84
・空調温度の適正化	○	エアコン(5.6kW 2台)の取替えによるCO2削減効果が継続
・不要照明の消灯	○	室内温度の設定を夏場は高めに、冬場は低めに設定
・スイッチを小まめに切る	○	使用していない部屋及び箇所の照明を消す
・昼時間の事務所一斉消灯	△	昼休み時間帯消灯の推奨
		今後は環境に配慮した家電製品、LED照明への買い替えを進める
		駐車場内にソーラー発電の照明を導入
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標		実績/目標= 0.94
・アイドリングストップの推奨	○	移動中の経路、客先においてアイドリングストップの推奨
・効率的なルート設定および指示	○	大型車業務(長距離)の割合が増えた為、ルートの効率化を徹底
		ハイブリッド車等、燃費の良い車両を率先して導入している
一般廃棄物の削減		
数値目標		実績/目標= 2.02
・分別の徹底	○	業務受託料が増えた為、事務所の書類ゴミ等が増加
・古紙(段ボール、雑誌、シュレッダー)のリサイクル	○	古紙全般を有価売却
産業廃棄物の削減		
数値目標		実績/目標= 0.39
・分別の徹底	○	荷下ろし現場にて荷台及びタイヤ洗浄をさせてもらい、自社での洗車を減らす
・自社洗車時間の削減	○	
・計画的にオイル交換を行う	○	
受託廃棄物のリサイクル対象比率向上		
数値目標		実績/目標= 0.00
・廃棄物内容分析表の入手	○	事業者先への的確な提案
・廃棄物リサイクルの提案力強化	○	廃棄物リサイクル判定の能力向上
地下水の削減		
数値目標		実績/目標= 0.33
・洗車時間のルール決め	○	新型高圧洗浄機の導入、洗車時間の短縮推奨により節水
・高圧洗浄機により、地下水の使用量削減	○	
グリーン購入の推進		
数値目標		
・有害性の少ない資材の購入	△	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	△	
・燃費のよい自動車の採用	△	
・事務用品グリーン購入比率向上	○	
収集運搬における環境配慮		
・積み忘れをしない	○	休憩時はアイドリングストップ 作業指示書(運行経路)に従い、効率的・的確な業務に務める
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等はアイドリングストップ	○	
・廃液漏洩対応訓練を実施する	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
自動車NOx・PM法	収集運搬車
貨物自動車運送事業法	事業計画の変更、運行管理・整備管理の届出
千葉県環境保全条例	地下水の井戸による汲上使用
千葉県下水道条例	排水の下水接続
危政令第17条	危険物給油取扱所

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

昨今、地球温暖化及び異常気象が叫ばれる中、弊社もその影響を身に染みて感じております。夏場の猛暑で有名な埼玉方面の業務は、弊社にとって欠かせないものですので、夏場は大変厳しいものがございます。弊社も運送会社の使命として、温室効果ガス削減は必須事項と考えております。車輛運行面においては、的確なルート選択、アイドリングストップの推奨等。事務方においては、クールビズ及びウォームビズによる的確な室内温度設定、電子契約及び電子請求によるペーパーレス化等。日々小さな積み重ねとなりますが、社員一同、意識して努めてまいります。

□環境活動の紹介

節電、節水、ゴミ減量化取組開始

- （クールビズ及びウォームビズの導入、エアコンの的確な温度設定）
- （室内照明の小まめなON/OFFの実施）
- （段ボール・雑誌等のリサイクル）
- （洗車時間短縮の推奨）

センサーライトの導入

- （節電の一環として設置）

社会貢献(AEDの設置)

SDGSへの取り組み

- （全社員への意識付け）

